

# 2019年度アクションプラン（行動計画）

2019年度のフィデューシャリー・デューティーの実践に向けたアクションプランは次のとおりです。  
 当社では、制定・公表しているアクションプランに基づき、お客様本位の業務運営を引き続き徹底してまいります。

	JTCホールディングスグループ策定/取組方針	アクションプラン（行動計画）
グループ管理方針	<b>1. 態勢</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>持株会社およびグループ各社において実践に向けた具体的なアクションプランを策定・公表するとともに、コンプライアンス部門は、その遵守状況について取締役会等に定期的に報告を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「JTCのフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」に基づき、実践に向けた具体的なアクションプランを策定・公表するとともに、コンプライアンス部門はその遵守状況について取締役会等に定期的に報告を行います。</li> </ul>
	<b>2. 業績評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>お客様のニーズ・利益に真に適う取組内容を評価する適正な業績評価体系を構築します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィデューシャリー・デューティーの実践等「顧客本位の業務運営」を踏まえた業績評価体系を構築します。</li> </ul>
	<b>3. 利益相反管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>持株会社およびグループ各社は、利益相反の可能性のある取引を特定・類型化し、具体的な管理方法を定めること等により、適切な利益相反管理を行います。また、利益相反の具体的な内容について分かりやすい情報提供を行う等、グループ内の利益相反管理の高度化に取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利益相反管理の有効性および適切性を検証し、その検証結果を踏まえて継続的な改善に努めます。</li> <li>利益相反の具体的な内容等をお客さまへ分かりやすく情報提供するよう努めてまいります。</li> </ul>
	<b>4. 企業文化の定着</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修その他の適切な動機付けの枠組の構築により、全ての役職員がフィデューシャリー・デューティー遵守の意識を共有し、実践する企業文化を定着させてまいります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育・研修や社内コミュニケーション施策等を通じて、全ての役員と社員がフィデューシャリー・デューティー遵守の意識を共有し、実践を行う企業文化を定着させてまいります。</li> </ul>

# 2019年度アクションプラン（行動計画）

	JTCホールディングスグループ策定/取組方針	アクションプラン（行動計画）
資産管理の取組方針	<p><b>1. 資産管理サービス提供体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産管理サービスの根幹となる事務の堅確性・迅速性向上を図るべく、人材・事務基盤・システム等の適切な資源配分を行います。</li> <li>有価証券・資金決済に係る法制・税制等の資産管理サービスに必要な高度な専門性を有する人材の育成に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資産管理サービスにおけるベストプラクティスの追求に不断に取り組めます。</li> </ul>
	<p><b>2. 金融インフラとしての事務・システム等の高度化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルに多様化・高度化するお客様の資産運用ニーズにお応えするため、事務・システム等の高度化に取り組めます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制・制度の変更や新たな運用手法・投資対象に適切に対応するため、計画的なシステム投資により継続的にインフラの充実を図ります。</li> </ul>
	<p><b>3. サービス品質の向上と新規サービスの開発に向けた取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お客様に安心して資産を預けていただけるよう適切な信託財産管理を行いつつ、資産管理に係る幅広い分野で、常に新しいサービスの開発に努め、多様化・高度化するお客様のニーズに対する最適なソリューションの提供を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな運用手法・投資対象に迅速に対応し、お客様の「新しい取り組み」を資産管理面から積極的にサポートします。</li> <li>資産管理に係るニーズや当社サービスへの評価など、お客様の生の声を当行の経営戦略に活かすべく、お客様との接点を増やします。</li> </ul>
	<p><b>4. お客様の投資活動を支える情報提供の高度化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の投資活動の高度化に資するため、各種報告書・レポートに加え、市場等からの情報をベースに、付加価値の高い情報（法制・税制、市場情報）を適時提供することに努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の「新しい取り組み」をサポートするため、業務・サービスの開発・推進を担う機能を集約し、新たなサービスの開発に取り組めました。</li> </ul>

# 2018年度アクションプランの取組状況

2018年度のフィデューシャリー・デューティーの実践に向けたアクションプランの取組状況は次のとおりです。

	アクションプラン（行動計画）	取組状況
グループ管理方針	<p><b>(1) ガバナンス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」に基づく実践に向けた具体的なアクションプランを策定・公表するとともに、コンプライアンス部門はその遵守状況について取締役会等に定期的に報告を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」に基づくアクションプランを策定・公表するとともに、その遵守状況について、取締役会等に四半期毎に報告しています。</li> </ul>
	<p><b>(2) 業績評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フィデューシャリー・デューティーの実践等「顧客本位の業務運営」を踏まえた業績評価体系を構築します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまの新しいニーズ、新しいサービスへの対応を積極的に評価する業績評価体系としています。</li> </ul>
	<p><b>(3) 報酬等の合理性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまに提供するサービスの内容に合致した合理的な資産管理報酬水準を設定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの内容に合致した合理的な資産管理報酬水準を設定しています。</li> </ul>
	<p><b>(4) 利益相反管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利益相反管理の有効性および適切性を検証し、その検証結果を踏まえて継続的な改善に努めます</li> <li>利益相反管理の具体的内容等をお客さまへ分かりやすく情報提供できるよう努めてまいります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資産運用関連業務における管理対象取引と管理方法を明確化し、グループ内の利益相反管理の高度化に取り組んでいます。</li> </ul>
	<p><b>(5) 研修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育・研修や社内コミュニケーション施策などの実施を通じて、全ての役員と社員がフィデューシャリー・デューティー遵守の意識を共有し、実践を行う企業文化を定着させてまいります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての役員と社員に対して、「フィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」等に関する教育・研修を実施いたしました。引き続き全ての役員と社員がフィデューシャリー・デューティー遵守の意識を共有し、実践を行う企業文化が定着するよう取り組んでまいります。</li> </ul>

# 2018年度アクションプランの取組状況

	アクションプラン（行動計画）	取組状況
資産管理機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>資産管理サービスにおけるベストプラクティスの追求に不断に取り組めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最良の資産管理サービスを提供するため、全社をあげて事務品質改善運動を展開し、サービス水準の向上に取り組めました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制・制度の変更や新たな運用手法・投資対象に適切に対応するため、計画的なシステム投資により継続的にインフラの充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2018年5月の国債決済期間短縮化（T+1化）に対して、計画通りにシステム開発を進めたほか、RPAの活用などにより、資産管理業務におけるデジタルイノベーションを推進しました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員向け教育メニューを充実させることにより、次世代を担う高度な専門性やITスキルを備えた「資産管理のエキスパート」の育成に戦略的に取り組めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新任者/中堅層/リーダー層など、階層に応じた研修を計画的に実施するとともに、「資産管理のエキスパート」に必要な語学力やシステム対応力を向上させるため、外部講師を招いた英語講座や海外拠点へのトレーニー派遣、IT研修を実施しました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな運用手法・投資対象に迅速に対応し、お客様の「新しい取り組み」を資産管理面から積極的にサポートします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の「新しい取り組み」をサポートするため、業務・サービスの開発・推進を担う機能を集約し、新たなサービスの開発に取り組めました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>資産管理に係るニーズや当社サービスへの評価など、お客様の生の声を当社の経営戦略に活かすべく、お客さまとの接点を増やします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オペレーションを担うプロダクト部門のすべての部に設置した「カスタマーサービス室」に寄せられたお客さまからの要望を、社内横断的に共有し、サービス向上に繋げる取組を推進しました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス内容に照らして適正な資産管理報酬を設定するとともに、報酬設定プロセスの定期的な検証を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資産管理報酬の水準の適正性につき、コンプライアンス部門による検証を実施いたしました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国市場に関する規制・制度情報やお客さまが投資する資産に関する情報等、お客さまに対する各種情報提供サービスの充実に向けた体制整備を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国市場における税制変更や決済制度変更に係る情報など、情報提供WEBを通じたタイムリーな情報発信、コンテンツの拡充を実施しました。</li> </ul>